



「節分の賑わい」
四季の部 銀賞 八王子市 佐野 軍英



今と昔

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉田 純一

小さい頃わたしは、高台の縁側のある家に住み、その裏手には柿の木の畑が拡がり、東側には竹やぶがあり、西側からは富士山を望むという中でくらししていました。それから半世紀以上が過ぎると家を取り巻く環境もガラリと変わり、裏手は柿の木の畑から四車線の道路へと変貌し、富士山はというと立ち並ぶ家々の間にかすかに見える程度になってしまいました。また、昔は今より四季がはっきりし、わざわざ観光地に出掛けなくとも、日々の生活の中で、季節を感じることもできる自然に溢れていたように思います。

さて、平成から令和の時代へと変わった今年の秋は、複数の台風が東日本を襲い、広範囲に及んだ甚大な被害は、みなさんもよく知るところです。当山でも、台風が強風により愛宕山の木々が倒れ、また豪雨により五重塔地下の参詣者休憩所が浸水する被害があり、また当山の近くでは、多摩川に架かる日野橋は橋脚が傾き、今でも通行止めになったままです。今年も残すところもあと一ヶ月程となり、被災された方々を思うと、一日も早く元のような生活に戻り、新しい年は希望に満ちたものになってほしいと、こころから願わざるをえません。

今後、台風や降雨がより一層激しさを増すことが予想されています。地球全体の平均気温がわずか数度の上昇によるだけで、気候や生態系への大きな影響を及ぼすという事実は、わたしたちの生存が微妙なバランスの上に成り立っているということ、わたしたちは頭や机上だけではなく、ようやく肌感覚、危機意識として理解し始めたように思います。

スウェーデンの学生グレタ・トゥーンベリさんが、「あなたたちは、私たちを失望させている。若い世代はあなたたちの裏切りに気づき始めています。もしあなたたちが裏切ることを選ぶのであれば、私たちは決して許しません。私たちはこのまま、あなたたちを見逃すわけにはいかない」と叫んだ、国連でのスピーチは、わたしたちが未来を担う子供たちに対して、何を残すのか、何をすべきかを、考えさせる言葉でした。そしてそれは、今すぐにでも未来に対して、わたしたちが責任のある行動をとらなければならないということの意味するものだ、わたしは思います。

お不動さまの心——(二〇七) 現代の世相から (67) 廣澤隆之

多くの仏教寺院では年回忌の法要などに塔婆を用意します。その塔婆に施主の名前とともに年号を元号で記すのが通常です。元号が改まった直後には、長年の癖でうっかりと平成と書いてしまうこともありましたが、ようやく年号を令和と綴ることに慣れました。この令和という元号になじんだこの秋に即位礼が執りおこなわれました。

この儀式の中核となるのは即位礼正殿の儀であるとされています。天皇が高御座から国の内外に向けて即位を宣明される厳粛な儀式です。この高御座は皇后の玉座である御帳台とともに京都御所の紫宸殿に常設されており、即位礼正殿の儀のためわざわざ東京まで運搬したと報じられました。

この儀式について少し調べてみましたところ、昭和天皇までは京都御所紫宸殿で行われていたようで、「即位礼紫宸殿の儀」といわれたとのこと。このことに興味をもち、さらに調べてみると、推古天皇の頃に御所の中心として大極殿が建造され、そこが権威の象徴となり、

即位礼などの重要な国家行事はそこで行われていました。平安京にあつては度重なる火災のため、ついに大極殿の復元はされず、重要な儀式は紫宸殿で行われるようになりました。

その後もこの即位礼は時代状況の変化とともにさまざまに変遷してゆきます。朝廷が経済的に逼迫していたときには幕府や守護大名などが援助をしてこの重要な儀式は連綿と維持されてきました。ある時代には庶民にまで見物が許され、そのために御所に群衆が押し寄せたこともありました。

また興味深いことにこの儀式が平安時代から昭和天皇まで京都御所で行われていたことです。東京の皇居での儀式は平成と令和の二回のみです。

明治になつてもなぜ京都で行われていたのか、平成の即位礼からなぜ東京になったのか、さまざまな事情があつたことでしょう。このことに関連しますが、現在の日本の首都はどこなのかという問題が浮上ります。そしてこのことを曖昧にしたまま、日本国憲法において天皇を国と

国民統合の象徴と定めているのです。

古代より都を移す際には天皇は遷都の詔を發しました。ところが慶応四年が明治元年と改元され、京都御所で即位礼も行われました。そして江戸から改称された東京に天皇が向かったことは「行幸」と記されました。その時にはまだ江戸城は御所と定められず、その後また京都に戻りました。そしてまた東京に戻り、江戸城を宮殿と定め、そこを宮城と称するようになります。

また興味深いことにこの儀式が平安時代から昭和天皇まで京都御所で行われていたことです。東京の皇居での儀式は平成と令和の二回のみです。

明治になつてもなぜ京都で行われていたのか、平成の即位礼からなぜ東京になったのか、さまざまな事情があつたことでしょう。このことに関連しますが、現在の日本の首都はどこなのかという問題が浮上ります。そしてこのことを曖昧にしたまま、日本国憲法において天皇を国と

る奠都がなされたという意見が主流になりました。そして長いこと京都と東京のどちらも都とみなしてきました。そして現在でも法令で正式に首都を定めていませんが、天皇の宮殿があり、政府機能がある東京が首都であると国民が暗黙裏に受けいれていることにもとづき、「首都」という語が使われているにすぎません。仮住まいの東京から天皇陛下に戻ってほしいという人



不動明王像 鎌倉時代

ているように思えます。私たちの心の中にある古代への思い、そして現代を生きる感性などが天皇の立ち居振る舞いの中に凝縮しているといえるのかもしれない。やもするとせわしなく生きなければならぬ現代にあつて、その激しく転変する時の流れから解き放たれて幻想のように現れる古代が私たちの心を深く揺り動かすといえるでしょう。

真言宗は弘法大師の活躍の時代から深く朝廷と関わってきました。それは国家と国民の安寧を祈る心で結びつく関係でした。天皇も仏さまの前で額ずき、祈りを捧げました。明治政府が仏教から神道を切り離す政策を実行して以来、この伝統は消滅しました。しかし千年を超える伝統には大事な魂の伝承があるはず。私たちは寺院に詣でるのみならず、神社にもお参りします。その祈りの心の奥底に古代が息づいているともいえるでしょう。

この悠久の時を生きる私たちを守るのが仏さまです。

- 廣澤隆之先生のプロフィール
- 大正大学名誉教授
- 浄福寺住職

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。
(敬称をすべて省略させていただきます)

境内整備緑化資金

寄進者芳名

(令和元年八月一日～十月三十一日)

武蔵野市 高瀬 和博

米原市 薄井 道明

彦根市 西澤 政男

(三回)

幟旗奉納者芳名

(令和元年八月一日～十月三十一日)

練馬区 鈴木 真紀子

東久留米市 佐野 和子

十本 立川市 金子 方惠

二本 日野市 豊住 秀夫

四本 日野市 安川 武雄

八王子市 有泉 雅弘

八王子市 木村 茂代

八王子市 阿部 啓司

曼珠沙華球根

奉納者芳名

(令和元年八月一日～十月三十一日)

八王子市 吉田 光明

千体地藏尊

奉安者芳名

(令和元年八月一日～十月三十一日)

調布市 竹内 えみ

府中市 岸 良一

日野市 難波 栄子

八王子市 鈴木 二郎

八王子市 大智 江

青梅市 梶 恵司

さいたま市 倉持 哲夫

宝塚市 井崎 俊一

昭島市 高幡不動ござれ市

大提灯奉納者芳名

(令和元年五月一日～十月三十一日)

ふじみ野市 中村 和子

中野区 黒澤 功記

武蔵野市 グループセダカ

武蔵野市 高瀬 和博

立川市 植原 細野造園

志木市 三浦 進

日野市 下田 孝治

八王子市 大内 康暉

品名 折畳みテーブル 四十一脚

奉納者 日野市

多摩川石遊会

品名 ハナモモ 十三本

奉納者 日野市

井上敏夫



品名 タマノカンアオイ 一株

奉納者 川崎市

飯田 朋子



山主の主な動静

9/5成東不動産岩崎法親和尚一
周忌(大導師)・9/8速水家・
出口家結婚式(戒師)・9/9大
覚寺晋山祝賀会(京都)・9/11
遍照講秋田大会・9/13まちおこ
し連絡協議会・9/16日野みこし
連パレード・9/19PC卓話・もみ

じ灯路実行委・9/23彼岸会法要
・9/28秋季大祭大般若会・10/2大
森真也僧正追悼法要(本山)
・10/3/4総代世話人旅行(京都)
・10/6勝五郎調査団(塔院)・
10/10祐勝和上三回忌法要・10/11川
崎大師・高尾山御礼・10/16布施
浄慧院下晋山式(本山)・10/18
眞藏院(埼玉第五教区)参拝
団・10/19井上源三郎資料館リニ
ユール祝賀会・10/21多摩八十
八ヶ所結願法要・10/23壽命院(埼
玉第三教区)参拝団・10/25も
みじ灯路実行委・10/29成田山御
礼・10/30観光協会研修旅行(深
谷・川越)・11/1よさこいまつ
り実行委・11/警視庁鑑識課慰
霊法要(導師)・11/4金剛院晋
山披露宴(京プラ八王子)・
11/5立正佼成会世界平和祈願法
要・11/7/8北釜地藏堂参拝(仙
台)・11/9ブルーライトアップ
式典・消防団出陣式・11/10茶筌
供養・11/佐藤家葬儀導師(大
日堂)・11/11幡山会旅行(福
岡)・11/14大楽寺(神奈川教区)
参拝団・11/20日野七福神總會・
11/22/23萬燈会・もみじ灯路・11/23
花塚供養・11/25覚性寺(埼玉第
八教区)参拝団・11/27梨・ぶど
う組合(サカエヤ茶楼)

高幡不動尊 フォトニュース



総本山醍醐寺にて～総代世話人研修旅行 10/4



お膝元まで～七五三祈願 11/4



台風災害義援金を日本赤十字社へ 10/28



川澄大僧正第三回忌法要 10/10



警視庁鑑識課法要 11/2

謹んで台風災害のお見舞いを申し上げます
 令和元年台風十五号・十九号により尊い命を失われた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に
 被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心から御祈念申し上げます。



八十八ヶ所巡拝結願～小路耕徳先生のご法話 10/21



本妙講の皆さんと 11/3



やさしい響きで～ブルーライトアップコンサート 11/9



密厳流詠歌奥羽・男鹿奉詠大会 9/11



茶筌供養 11/10



今年も力作揃いです～菊審査 11/5



おみがき～高幡山遍照講の皆さんのご奉仕 9/15



警察犬が登場～日野防犯協会 11/2

當山第三十三世貫主

川澄祐勝大僧正第三回忌法要

十月十日、當山第三十三世貫主川澄祐勝大僧正の第三回忌法要を大本山高尾山薬王院御貫首ご名代・菅谷秀文執事長様大導師のもと大日堂に於て勤修されました。

当日は、大本山成田山新勝寺橋本照稔御貫首様、大本山川崎大師平間寺藤田隆乘御貫首ご名代・出井宏樹執事長様、法類幡山会、東京多摩教区御寺院、縁故御寺院、檀徒総代世話人、遍照講高幡山支部、遺族の方々が参列されました。

法要では大導師によって川澄貫主の遺徳を讃える回向文が読み上げられ、続いて読経、焼香、御詠歌「追善供養和讃」の奉詠と川澄貫主の仏果増進を祈りました。



大導師 高尾山薬王院 菅谷秀文執事長様



川澄貫主にご詠歌をお供え

御詠歌始めませんか

『密厳流御詠歌』 講員募集のご案内

御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、花まつり、萬燈会などの法要でお唱えします。高幡山では次のとおり御詠歌の新講員を募集しますので、大勢様ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、名 称 遍照講高幡山支部
 - 一、参加資格 どなたでもご参加いただけます
 - 一、指 導 密厳流遍照講師範
 - 一、会 費 一ヶ月 参千円(但し、鈴・鉦などの道具は別費)
 - 一、稽古日時 月二〜三回 午前十時〜十二時
 - 一、問い合わせ先 高幡不動尊内遍照講高幡山支部
- 電話 ○四二(五九一)〇〇三二

多摩八十八ヶ所巡拝のご案内

当山では昭和四十八年より毎年、四月から十月にかけて多摩八十八ヶ所巡拝を実施致しております。巡拝は初めての方でも先達のお坊さんの案内をいただき乍ら月一回の楽しい巡拝が出来ます。ご知友誘い合せてご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 一、巡 拜 毎月第一週の火・木・日曜日(五月は第二週)
- 一、会 費 四九、六〇〇円(七回分)分割納入も可
(納経料・バス代・保険料等を含む)
- 一、昼 食 各自持参

※詳しくは高幡山事務局内龍華会まで

電話 ○四二―五九一―〇〇三二番



川澄貫主第三回忌にあたり高尾山薬王院大山隆玄御貫首様より
ありがたいお言葉をいただきましたのでご紹介致します。

川澄祐勝大和上三回忌法要にあたり大和上の御尊前に
謹んでご挨拶申し上げます

川澄御前様の在りし日のお姿 お話のあれこれを
顧みまするに御前様は 秋山御前様のご誓願であられる
高幡山の興隆とご信徒の教化を一身に受け継がれ その
ご生涯を高幡のお不動様にお任せなされ 誠心 その任に
励まれた徳行の篤き事は衆人の知るところであります
その傍ら 生来の温厚篤実なお人柄は 誰にも分け隔て
なく誠実に接してこられ 広く檀信徒のみならず ご山内の
職員をはじめ宗派全体にも及ぶ崇敬を集めておられました
まさしく僧侶の模範と申すべきと改めて思う次第であります
加えまして 平成の初期 不肖 私が高尾山三十二世を
拝命するにあたりましては川澄御前様より 秋山御前
様との周旋を格別に賜ったのであります

再び 川澄御前様の御尊顔を拝する事 能わざる
今 ただただ蒙りましたご情誼に感謝するのみであります
しかしながら 川澄御前様におかれましては すでに
立派なご後継に恵まれ 殊に 多年のご労苦も実を
結ばれ寺運益々隆昌の中におありの事は後顧の憂い無く
誠に安らかなる事と存じます

ここに川澄御前様のご生前の大意とご功績を称え
佛果増進と共に御当山と檀信徒に哀愍納受賜らん事を
お祈り申し上げご挨拶いたします

高尾山薬王院

大山隆玄

献花のおすすめ
お花講 講員の募集

当山ではお花講講員の皆さま方の会費により、山内全
ての伽藍のお花を飾らせていただいております。毎年秋
季大祭大般若会（九月二十八日）に御招待致します。大
勢様ご入講下さいますようご案内申し上げます。

記

一、会費一ヶ月

五〇〇円

※入講は随時承
つております。

ご入講の皆様
には輪袈裟を
授与します。



稚児募集要項

来る一月二十八日（火）の初不動大祭お稚児を左記の
通り募集致します。奮ってご参加下さい。

記

一、日時 一月二十八日（火）午後二時より「おねり」

一、集合 正午までに高幡山本坊（時間厳守）

一、申込 一月二十五日まで

一、冥加料 金七千円也

（お護摩料、お守り札、稚児袋、お供物、
衣裳料、化粧料、弁当二人前）

一、年齢 三歳〜七歳位まで

一、ご準備 服装自由（しこき紐・細紐を各一本ご持参下
さい）

履物はなるべく草履・足袋をご持参下さい。

◎元旦護摩のお受け
取り場所について

十二月三十一日までにお申
込みいただきました元旦護摩
はすべて元旦の一番護摩で
祈願致します。お札のお渡し
は午前二時頃からです。

一〜三日 客殿二階洋間
四日以降 宝輪閣地階

になりますのでご注意下さい。

◎お護摩札郵送について

お護摩札郵送を希望される
方は郵送用伝票がございます
ので所定事項を記入の上係ま
でお申し付け下さい。

◎三ヶ日参詣駐車場に
ついて

今年も左記の方々のご厚意
により、三ヶ日の駐車場が確
保できましたのでご利用下さい。

※臨時駐車場提供の方々は多
摩コース・東京南農協・さ
わやか信用金庫・食品のお
おた・日野市役所等の皆様
でございます。尚、食品の
おおたは二日まで。

年末・正月・初不動・節分のご案内

◆十二月

○8日(日) フリーマーケット

○13日(金) 煤払い(午前9時)

堂塔や仏さまの一年の煤を山内僧侶達が払います。

○15日(日) お焚き上げ(午前9時)

○15日(日) ござれ市(がらくた市)

○21日(土) 月例写経会(午後1時30分 山内僧侶法話・写経)

○22日(日) 冬至星まつり(午後5時・於不動堂)

星曼荼羅に来年の厄除・開運を祈る行事です。

祈願終了後、冬至うどんの接待があります。

○24日(火) 千体地藏尊月例法要(午後2時法要 法話 山内僧侶)

○28日(土) 納めの不動尊・歳の市

お焚き上げ(午前6時・9時)
古い護摩札・お守り・だるま等を納め、一年の無事

○31日(火) 大晦日・除夜の鐘供養

を感謝し、来年の安全を祈ります。
先着一〇八組の方に無料で撞いていただきます。

◆一月

○元旦・2日・3日

元朝祈願大護摩修行

元旦は午前0時、2日・3日は午前6時から大護摩修行。尚2月11日までの護摩修行は特別の時間帯になつておりますのでご注意ください。

自動車の交通安全祈願

元旦は午前0時から午後6時まで、
2日・3日は午前6時から午後6時まで。

○元旦(日) フリーマーケット

○12日(日) フリーマーケット

○15日(水) 厄除牛玉宝印々可(於不動堂)

弘法大師御作と伝わる秘印のお加持が受けられます。
息災延命・頭痛除けの霊験が知られています。

お焚き上げ(午前6時・9時)

日野七福神めぐりのご案内

新春恒例となりました日野七福神めぐりを左記の通り実施致しますので皆様方お誘い合わせてご参詣下さい。
尚、ご朱印につきましては『日野七福神めぐり色紙』をおすすめ致します。

記

一、実施期間 令和二年一月一日～七日

一、ご朱印受付時間 午前九時～午後四時

一、七福神色紙 一枚 三〇〇円也(各寺院にあります)

一、ご朱印料 一印 三〇〇円也

※実施期間・時間にはくれぐれもご注意ください。

○布袋尊 宗印寺(平山)

京王線平山城址公園駅より徒歩五分

○大黒天 善生寺(豊田)

京王線南平駅より徒歩十五分

○寿老尊 延命寺(川辺堀之内)

京王線南平駅より徒歩二十分

○弁財天 高幡不動尊(高幡)

京王線・多摩都市モノレール

高幡不動駅より徒歩三～五分

○毘沙門天 安養寺(万願寺)

多摩都市モノレール万願寺駅より徒歩五分

○福祿寿 石田寺(石田)

多摩都市モノレール万願寺駅より徒歩五分

○恵比寿天 真照寺(落川)

京王線百草園駅より徒歩三分



◎ほのほうちわ授与

○厄除・交通安全のほのほうちわは元旦から節分までお頒けいたします。
一体 五〇〇円也



◎日野七福神めぐり色紙

七ヶ寺めぐると記念品をお渡しします。さらに、七年分の色紙を集めると記念湯呑を贈呈。



◇二月

- 19日(日) ござれ市(がらくた市)
- 21日(火) 初大師・月例写経会(午後1時30分 山内僧侶法話・写経)
- 24日(金) 文化財防火演習(午前9時)
- 24日(金) 千体地藏尊月例法要(午後2時30分 法話 山内僧侶)
- 28日(火) 初不動大祭
- 稚児行列(おねり)(午後2時)
- だるま市 関東各地のだるま屋さんの威勢の良い掛け声が飛び交い、十万人の人出で賑わいます。
- 31日(金) 豆煎り式(午前10時)
幼稚園児や参詣の方々と節分の福豆を煎ります。
- 3日(月) 節分豆撒式・だるま市
豆撒式は午前10時から5回。合計約一、〇〇〇人の年男が招福を祈り豆を撒きます。芸能人・タレント多数参加。尚、どなたでも申込みにより年男として参加できます。又節分会員になっていただき、お札・お供物を受けることもできます。

- 9日(日) フリーマーケット
- 15日(土) 涅槃会(午後1時・於大日堂)
お釈迦様が涅槃に入られた日。お釈迦様を追慕し仏恩に感謝する法要を行います。
法話 長野市長谷寺寺庭・絵解き師 岡澤恭子先生
演題「釈迦涅槃図お絵解き―お釈迦さま最後の旅―
お焚き上げ(午前6時・9時)
- 16日(日) ござれ市(がらくた市)
- 21日(金) 月例写経会(午後1時30分 山内僧侶法話・写経)
- 24日(月) 千体地藏尊月例法要(午後2時法要 法話 山内僧侶)
- 28日(金) 月例祭(ご縁日)

豆撒式年男のご案内

◇御本尊不動明王の御宝前に於て攘災招福立春大吉の大護摩供を奉修し併せて盛大な豆撒式を執り行います。年男としてご参列いただきたくご案内申し上げます。

- 一、日時 二月三日(月)
- 第一回 午前十時
- 第二回 午前十一時
- 第三回 午後一時
- 第四回 午後三時
- 第五回 午後四時
- 一、式場 不動堂及び宝輪閣二階



一、冥加料 金三万円也
※袴は当山でお貸し致します。尚、豆撒終了後の祝宴会場は本坊三階大広間でございます。

節分会々員のおすすめ

◇節分当日は早朝から会員の皆様の七難即滅・七福即生の守護摩をご修行致しますので、奮ってご参加下さい。

- 一、会員には、特別会員(冥加料 一万円)があります。
- 会 員(冥加料 三千元)

一、当山事務局にて節分願主名簿にご記入し、引替証をお受け取り下さい。

一、立春大吉の護摩札と福豆、供物等をお授け致します。
(参加申込み 二月三日 午後四時まで)



昨年の豆撒式



第四十九回(十月二十六日～十一月十七日) 高幡不動尊菊まつり

昭島市菊友会

小川 二郎

新年号令和を迎え、第四十九回高幡不動尊菊まつりが関係者各位のご尽力により盛大に執り行う事が出来ました事厚く御礼申し上げます。

先般、十一月五日と十三日に出品花の審査が行われ、次の方々が入賞されましたのでご紹介致します。

上位入賞者(敬称略)

○内閣総理大臣賞

盆養・一文字・玉光院
八王子市 松崎 隆一

○文部科学大臣賞

盆養・厚盛・富士の新雪
八王子市 山本 昌宏

○農林水産大臣賞

切花・厚走・国華の幸
東大和市 田中 誠

○厚生労働大臣賞

切花・厚物・彩胡銀河
八王子市 和田 益男

○環境大臣賞

競技花盆養・間管・彩胡三枝
国分寺市 萩生田 稔

○東京都知事賞

盆養・太管・泉郷情熱
立川市 橘 勇

○日野市長賞

切花・間管・彩胡優美
日野市 西野圭永子

盆養・補助厚物・国華金山

八王子市 瀬川 善一

○八王子市長賞

盆養・間管・彩胡優美
八王子市 松崎 隆一

○立川市長賞

盆養・懸崖・晃宝
青羽 橋本 隆

○府中市長賞

盆養・だるま厚盛・国華金山
八王子市 和田 益男

○昭島市長賞

切花・厚盛・富士の新雪
八王子市 和田 益男

○小金井市長賞

切花・新花管物・彩胡乙姫
日野市 西野 正人

○小平市長賞

切花・新花厚盛・彩胡王朝
八王子市 和田 益男

○国分寺市長賞

盆養・ジャンボ補助厚盛・国華越山
東大和市 木村 吉璋

○東大和市長賞

切花・厚物・国華金山
日野市 西野圭永子

○武蔵村山市長賞

切花・新花管物・彩胡乙姫
立川市 橘 勇

○多摩市長賞

盆養・細管・天女の名所
国分寺市 萩生田 稔

○町田市長賞

切花・間管・彩胡夢美
立川市 橘 勇

○日野市議会議長賞

盆養・補助管物・岸のオーロラ
八王子市 和田 益男

○全菊連会長賞

切花・一文字・玉光院
八王子市 松崎 隆一

○高幡不動尊賞

競技花盆養・厚物・国華花暦
多摩市 増田 友一

○大会会長賞

切花・一文字・玉光院
八王子市 松崎 隆一

○審査委員長賞

盆養・細管・開電秋峰
立川市 阿部 良子

○理事長賞

切花・キタサイズ間管・彩胡三枝
八王子市 和田 益男

盆養・江戸菊・江戸の黄八丈
国分寺市 高山 光子

○日野市商工会長賞

競技花盆養・管物・彩胡宝玉
国分寺市 萩生田 稔

○読売新聞社賞

切花・細管・天女の名所
国分寺市 萩生田 稔

○京王電鉄賞

切花・細管・彩胡王姫
日野市 西野圭永子

○コニカミノルタ賞

盆養・三色花壇・満山強大新雪
町田市 榎本ユキ子

○東京南農業協同組合長賞

切花・厚走・国華由季
日野市 西野 正人

○日野自動車賞

切花・太管・彩胡流星
八王子市 和田 益男

○富士電機賞

盆養・厚走・国華万舞
国分寺市 小峯 由彦

○富士旅館賞

競技花切花・厚走・国華勲位
八王子市 松崎 隆一



内閣総理大臣賞



環境大臣賞

諸行事に参加して

(敬称略)

秋季大祭大般若会 (9/28)

・お花講総登壇

・大般若会

・記念法話

「今を生きる」

いのちとは

鹿沼市 薬王寺

二住職 倉松俊弘先生

多摩市 村上 光代

本日はじめて参加させていただきました。

ご法話を聞き、改めて自分のいのち、そしてまわりのいのちの大切さを痛感いたしました。頂きたいのちを輝かせ笑顔でことばの大切さを子供



倉松俊弘先生

達に伝えていきたいと思いましたが。

豊島区 石井 明美

倉松俊弘先生の法話はとても聞き取りやすい美声で、誰もがしつかりと理解でき、腑に落ちる内容で、あつと言った時間の時間でした。

これから少しでも自分の時間を他の人の為に使えるように余裕が持てたら良いと思いました。

西東京市 保谷 晶子

倉松先生のご法話、大変感動致しました。明鏡止水、小学四年生少女の詩、仏心を育てる五つの教え等、これからの日常の心得として大変参考になりました。有難うございました。

日野市 菌部

今日は土曜日という事もあり、主人と二人でお花講へお伺い出来、ありがとうございます。

ご法話はスライドを使い、美しい写真と共にわかりやすいもので感謝致します。日々忘れがちな「おかげさま」を再認識出来た時間でした。護摩修行も皆様汗をかきなごらの姿に、有難うございま



「声高らかに」大般若転読会

多摩八十八ヶ所結願 (10/21)

東大和市 尾崎美和子

四月桜の花を見ながら始まった多摩八十八ヶ所巡拝。それぞれのお寺様で心からのおもてなし、お言葉も頂き有難うございました。足もとの花木が迎えてくれました。本日の結願をお礼申し上げます。無事にこの日を迎えました事、皆様のお陰様でございます。心洗われた気持ちで帰る事が出来ます。本当に有難うございました。

府中市 川上紀代子

初めて参加させていただきました。仏教について何の知識も持たないままの参加でした。お経の意味も分からず、どんな意味があるのだろうかと思いつつながら学ばせていただきました。奥の深い仏教であること。今までやってきたことに疑問も持たずにあたり前になんかやってたことを反省しています。

「南無大師遍照金剛」「不殺生・不偷盗・不邪淫……」心にとめながら日々過ごしたい。

自分の心を鍛えたいと思いました。有難うございました。感謝しています。

日野市 辻井 洋子

本日、無事に巡拝を終えることが出来まして清々しい気持ちでございます。有難うございました。

身体に気を付けて、来年も巡拝が叶うといいな!!と今思っています。

日野市 原 元子

二回目の巡拝に参加させて頂きました。昨年は何も分からず無我夢中で勤行を唱えさせて頂きました。又、台風の中、高尾山を参拝出来た事も思い出です。美しい八十八ヶ所のお庭や本堂、疲れた身体と心にやすらぎを感じ、感謝申し上げます。



～結願のお授け～ 多摩八十八ヶ所巡拝

まんどうえ
萬燈会・もみじ灯路

第二十四回高幡不動尊萬燈会が十一月二十二日・二十三日の両日盛大に開催されました。今年は第十四回を迎えたたかほたもみじ灯路は生憎の雨のため二十四日に延期となりました。

五重塔塔院大ホールで田中成明先生の記念法話・密厳流御詠歌奉詠・萬燈会大法要・ラテン歌手ベン・ホサカ氏の記念コンサート、五重塔初重では精霊供養法要。門前町一帯では約三千個の灯籠が一斉にともされ幽玄な世界が広がりました。その他境内では嵯峨御流華展等が行われました。



百味供附萬燈会大法要



経木塔婆供養～五重塔初重にて



傘を手に～江戸消防記念会の皆さん



朗々と ベン・ホサカ コンサート



フラワーデザイン展「花想い」

山内消息

速水教裕君結婚(9/8)

九月八日、徳善院本堂に於て當山貫主戒師のもと新郎速水教裕僧都、新婦結莉さんの仏前結婚式が執り行われました。

大変厳かな雰囲気の中で式は進み、二人が巡り合えたご縁に感謝するとともに、御本尊様と両家の御先祖様にご報告を致しました。(松本記)

密厳流詠歌

奥羽・男鹿奉詠大会(9/11)

ご詠歌の奉詠大会が男鹿市民文化会館で開催され、高幡山支部十一名・八王子西蓮寺支部六名の合同で参加いたしました。



ご詠歌大会

初日は入道崎灯台・なまはげ館男鹿真山伝承館と男鹿を満喫していただきました。

二日目、いよいよ大会本番です。開会式ではご法楽にて東日本大震災の追悼と復興をお祈りし、奉詠では「遍照講やすらぎ和讃」をお唱え、日頃の稽古の成果を十分に発揮しました。お昼休憩の際、なまはげ太鼓の演奏が行われ、その迫力に圧倒されました。大会終了後、秋田温泉にて二日間の疲れを癒し、三日目はねぶり流し館・角館武家屋敷と秋田の歴史に触れ、帰路につきました。

二泊三日という長旅でお疲れだったかと思いますが、高幡山支部、西蓮寺支部の皆さまのご協力のお陰ですばらしい奉詠大会の旅となりました。

(手塚記)

自衛消防活動審査会(9/13)

今年例年の新万願寺グラウンドから豊田の公園予定地に場所を移し、令和元年度自衛消防活動審査会が実施されました。私達の「一号消火栓Bの部」には七事業所、九隊が参加しました。ご挨拶をいただいた日野市長の「日野市の自衛団はレベルが高い」という言葉の通りで、初参加の私は他チームに圧倒されてし



惜しくも敢闘賞

まいりましたが、本番では一番手応えのある動きが出来ました。結果は三〇〇点中の二八〇点と惜しくも入賞とはならず敢闘賞を頂きました。今回学んだ初期消火の技術と心構えを忘れず、今後の職務に活かして参ります。

(御原記)

お花講総登嶺(9/28)

九月二十八日、お花講総会が開催され、講員百名(総講員 三百五十名)が登嶺されました。当日講員の皆さまは、栃木南部教区薬王寺ご住職倉松俊弘先生のご法話を聴講した後、十四時からの大般若経転読付大護摩供に参加されました。引き続き懇親会も行われ、精進料理を会食しながら親睦を深め、仏縁を育む交流の場となりました。(小澤記)

総代世話人研修旅行(10/3・10/4) 十月三・四日の日程で檀家総代世話人研修旅行が行われ、貫主をはじめ総勢二十名で京都へ行ってまいりました。

初日はお大師様ゆかりの高雄山神護寺へ伺いました。山の中腹にある為石段を上ること十五分、息を整えてからの参拝となりました。お大師様がいらしたお寺のご本尊様に法楽を捧げることが出来たのは感慨深いものでした。

翌日は総本山智積院での早朝参拝。布施管長祝下のお導師のもと金堂でのご回向と明王殿のお護摩祈禱に参列し、続いて名勝庭園、講堂襖絵、長谷川等伯一門の国宝障壁画を丁寧にご案内頂きました。次に向ったのは世界文化遺産の醍醐寺です。三宝院の書院・霊宝館を中心にご案内頂きましたが、文化財の数、二百万坪の広大な境内に圧倒されればなした。また、昨年の台風二十一号により仁王門から五重塔付近一帯の林が消えていました。余り報道されず、一変してしまった風景を目の当たりにし、その被害の甚大さにショックを受けました。

今回の研修旅行では各寺院で丁寧なご案内、お心遣いのおかげで貴重な体験をさせて頂きました。(直井記)

日野市仏教会研修旅行(10/29) 十月二十九日、日野市仏教会研修旅行に同行させて頂きました。

まずは調布の深大寺を参拝。境内を案内いただき、本堂では御前様自ら深大寺の歴史や釈迦如来倚像がどのような経緯で国宝に指定されたかを丁寧に教えていただきました。

次に世界一高い電波塔・東京スカイツリーを訪れました。晴れた日には高幡の山からも見えるので、スカイツリーから高幡の五重塔が見えるのから楽しみでしたが、あいにくの雨降りでしたので叶いませんでした。(杉田周記)



深大寺の御前様と／日野市仏教会研修旅行

高幡いきもの曼荼羅 ⑨

地球は水の惑星ともいわれ、生命を維持する為に水は不可欠なものです。ところが先の台風などによる豪雨では、水を持つ破壊力が大災害をもたらせました。地球規模の温暖化がこのような災害の遠因になったのではないのでしょうか。高幡不動尊でも五重塔地階が浸水するなどの影響がありました。

当山の裏山・不動ヶ丘では折をみて木々の手入れをしており、倒木の撤去をはじめ、景観の維持や杉などの行き過ぎた植林の伐採を行っています。それによって、日当たりが変化して植生が変わり、バタフライ効果と言われないまでも珍しい鳥や昆虫を目撃することもあります。

しかし、不動ヶ丘は山紫陽花が自生することからも分かるように保水力が高く、一年を通じて水の流れが尽きることはありません。山裾のあちこちからは小流れが湧き出しており、そこは生き物のオアシスでもありません。季節により種類は異なりますが、可愛い小鳥たちが水浴びする姿がたびたび見られます。やはり水は命を繋ぐものなのです。



ジヨウビタキ (雌)



シジュウカラ



ヤマガラ

なにげなくつかっている仏教のことは—境界(きょうかい)きょうかいきょうがい

境界を「きょうかい」と読めば、(さかい)や(区域)のことを意味します。

仏教では「きょうがい」と読み習わします。感覚器官である耳や鼻は、音や香りを認識の対象としますが、このよ

うに心身が認識の対象とするものごとを境界といい、また「仏の境界」などというように、心身の状態を表す(境地)や(世界)という意味にも用いられています。

この境界の意味する(境地)

や(世界)が転じて、現在では境界や境遇という語と同様な(人それぞれの立場)や(身の上)といった意味でも用いられています。

(小林靖典)

お不動さま教えて？

ご質問 仏教と関係がある植物について、是非、知りたいと思います。どうかお不動さま教えてください。

(前前号と前号からのつづき) 答え はい、お答えいたします。前前号と前号と、仏教における三大聖樹のうち、無憂樹(むゆうじゆ)と菩提樹(ぼだいじゆ)についてお話しいたしました。そこで今号では、娑羅樹(さらじゆ)を取り上げることいたします。



ナツツバキ

最晩年のお釈迦さまは、四十年にも及んだ遊行の旅を終え、クシナガラ(クシナガラ)の地にある娑羅樹の林において今まさに、すべての煩惱を断じ、肉体も滅した完全な寂靜の境地である《涅槃(ねはん)》に赴かんとしていました。その場面を經典で次のように伝えていきます。

「導師(お釈迦さま)は一ナダに告げて言った『さあ、アーナンダよ。わたしのために、二本並んだサーラ樹(娑羅双樹)の間に、頭を北に向けて床を用意してくれ。アーナンダよ。わたしは疲れた。横になりたい』

耳樹)、他の木より高くそびえ立つので(高遠樹)とも訳されています。この娑羅樹は、フタバガキ科の高木で、白い(淡い黄色)の小さな花を咲かせます。日本の地で娑羅樹と称して植えられているのは、夏椿(なつづばき)の樹です。夏椿もまた白い花を咲かせ、またサルスベリに似た堅い幹をしていることから、仏教の聖樹である娑羅樹に擬せられ、この別名がついたといわれています。

と。さて、そのとき娑羅双樹が、時ならぬのに花が咲き、満開となった。それらの花は、修行完成者(お釈迦さま)に供養するために、修行完成者の体(からだ)にふりかかり、降り注ぎ、散り注いだ」と。(中村元訳『ブツダ最後の旅』岩波文庫より抄出)

この日を日本では二月十五日のこととし、高幡のお不動さまでも《涅槃会》と称して法会が行われています。

皆様からのお便り

伊達市 東山 由実
いつも山報をお送り下さり
ありがとうございます。

今夏、息子の住む京都を訪ね、念願でした智積院にお詣りに行きました。

ところが、着いたのが午後四時過ぎ。すでに境内の見学時間は過ぎていましたが、せめて御本堂だけでもと足を早めました。すると夕のお勤めでしようか、数十人もの若い修行僧の皆様のお経が聞こえてまいりました。大合唱のようでした。そしてその奥に大日如来像を拜むことができました。

残暑の中、蝉の声と美しいお経、そして包み込むような御本尊様。奇跡的なことに涙があふれました。祖母、母、おじ、おばの眠る高幡のお不動さんと今ここにある自分がつながっていることを深く感謝する貴重な時でした。

東大和市 栗原 進
好天に恵まれ、初めて大般若会法要に参列させて頂き、観音経も般若心経も一生懸命お不動様にお唱え致しました。

我乍ら転読とは、気持を落つかせ心の丸洗いと悟りました。杉田純一貫主様の第一巻「だーい般若波羅蜜多……」

で始まり、第二巻よりお坊さんの「ヤーヤーヤーヤー」と節をつけての声明声が活気を運び、バラバラパラパー、サラサラサラと風の音が転



読と心地よくマッチして大感動。第六百巻、貫主様の転読でお不動様のお智慧とお慈悲を頂きました。

正に、「百聞は一見にしかず」本日は誠に有難う御座居ました。

南無大師遍照金剛

合掌

多摩八十八ヶ所巡拝

春、夏、秋、遍路四季

八王子市 川幡 俊一

四月巡拝(十四ヶ所参拝)

武蔵野・三鷹・調布・

稲城・町田・多摩

四月四日、一回目の巡拝日です。皆さん楽しみにしていた日です。本日は少し肌寒さが残る日ですが、高幡

不動尊の桜は今年も見事に満開で、美しい桜を朝からお参りしながら、心行くまで目を楽

しませてくれました。集合後、本堂をお参りし出発。バスで一番

札所までの道中、府中の桜並木が見事に満開

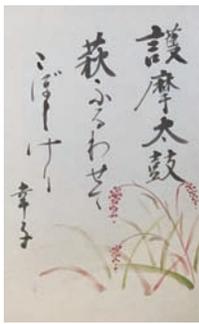
の桜並木が見事に満開の車中最高のお花見を

することが出来ました。各お寺さんの桜や庭

の花も見事に咲き誇り、春遍路を楽しみ、夕方

戻った不動尊で夜桜を楽しみました。お寺さんありがとう。

(次号へつづく)



御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時～午後五時(午後四時半までにお申込下さい)

御護摩修行

平日 八時・十時・十一時半・一時・三時

土曜・日曜・祝日

八時・十時・十一時半・一時・二時半・四時

但し一日、十五日の午前中は五時・十時・十一時半

ご縁日(二十八日)

五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時

※正月期間中(一月一日～二月十一日)は特別時間となります。詳しくはお問い合わせ下さい。

御護摩料

金参千円也 金五千円也 金壹万円也

(大護摩) 金参万円以上

ご縁日 毎月二十八日

フリーマーケット(リサイクル市) 毎月第二日曜日(雨天中止)

ござれ市(がらくた市) 毎月第三日曜日(雨天決行)

お焚き上げ 毎月十五日午前九時

月例写経会 毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要 毎月二十四日午後二時

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観

午前九時～午後四時

参拝料二〇〇円(月曜休館)

尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

残り僅かになりました。平成と令和、ラグビー日本代表の活躍、風水害や痛ましい事件等さまざまな出来事がありました。巻頭言では、塔院休憩所の想定外の浸水被害などありました。編集子の居住地でも多摩川の支流が氾濫危険水位になり避難勧告が発令され家族が一時避難所へ避難し、自然の猛威には抗えないことを痛感しました。犠牲になられた方々のご冥福と迅速な復興をお祈り申し上げます。今年一年のご信援を深謝すると共に良き年をお迎え下さいます。

発行所 〒191-0031 東京都日野市高幡733 別格本山 高幡山金剛寺 電話 (042)591-0032(代) FAX (042)593-3038 振替 東京 00100-8-54134番 発行人 黒川 高德 編集人 年4回発行・再生紙使用

初詣境内御案内図

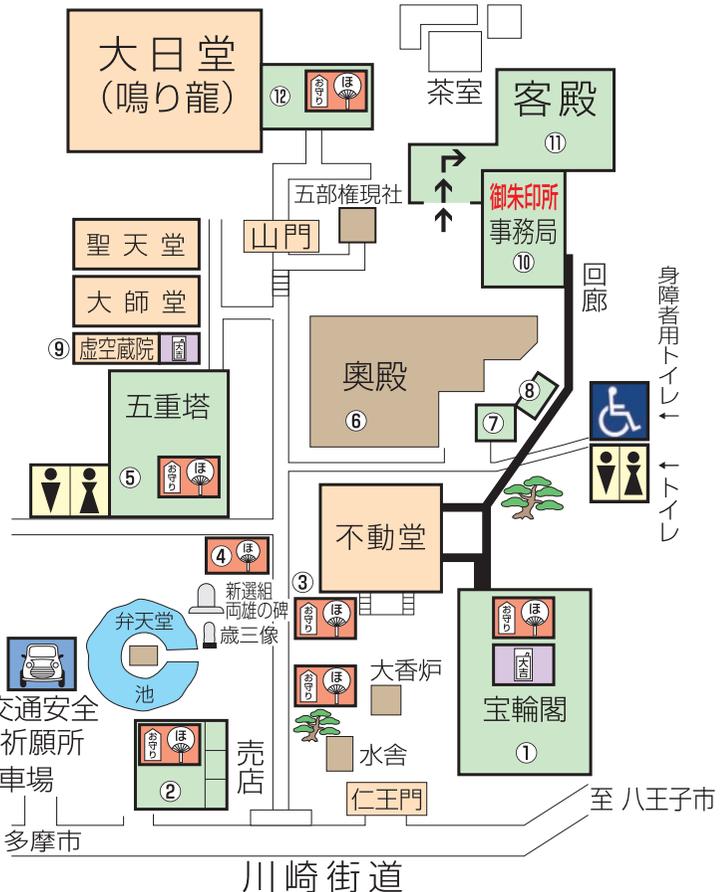
(諸堂・お守授与所・記念碑・休憩所)

- 不動堂……毎日護摩修行・丈六不動三尊参拝
(どなたでも自由に参加頂けます)
- 奥殿……寺宝展会場(指定文化財多数展示)
重文不動三尊は奥殿正面から自由に参拝して頂けます
- 大日堂……鳴り龍・八福神襖絵拝観
位牌堂(歳三位牌等多数)参拝
- 五重塔……無料休憩所・釈迦三尊像参拝
(大ホール) 千体地藏堂参拝



	お守り・ほのほうちわ授与所
	おみくじ
	身障者用トイレ
	トイレ

- ① 宝輪閣
1階-護摩受付所
地階-護摩札お渡し所
- ② 交通安全祈願受付所
- ③ お守り・ほのほうちわ
- ④ ほのほうちわ
- ⑤ 五重塔々院
(無料休憩所、千体地藏堂)
- ⑥ 奥殿拝観受付
- ⑦ 上杉堂
(百ヶ日忌・水子供養等)
- ⑧ 納札堂
- ⑨ おみくじ
- ⑩ 事務局
(総受付・御朱印所)
- ⑪ 客殿二階
(予約元旦護摩お渡し所)
- ⑫ 大日堂拝観受付



正月参拝の方は京王線・多摩モノレール・バスをご利用下さい。
高幡不動駅下車、徒歩3～5分で境内に入ります。